

広島市歯科医師会だより



5 月号

No.229 (R8.5.15)

Hiroshima City Dental Association



第41回「おくちの健康展」の様子を広島市歯科医師会の
YouTube にアップしていますので是非ご覧ください！

行事報告

日本歯科医師連盟「第8回政治セミナー」	1
第1回 支部長・副支部長会議	1
第41回 おくちの健康展	3
令和8年度 第1回 四者協議会	3

支部だより

中区支部	4
------	---

ちよつとイイ話

休日診療保険請求における留意事項について	5
オーラルフレイルの先駆け、三百年前の偉人。貝原益軒の養生訓(学術部)	5
広島市歯科医師会会員紹介(厚生部)	6
～ハハ姉妹の学校ニュース《37時間目》「お口ボカン気になりませんか?①」～(地域歯科保健部)	7
LINE 公式アカウント 友達募集	7

会員ひろば

新入会員紹介	8
--------	---

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起っていますー(総務部)	8
今月の知っておきたいこと(広報部)	9
YouTube(広報部)	11
FM ちゅーピー(広報部)	11
会長コラム 伝達	12
4月定例理事会報告	13



広島市節目年齢歯科健診の
健診票は**変更ありません**

【クールビズのお知らせ】

5月1日～10月31日まで、クールビズを実施しています。

- 1.原則として、会議中等のネクタイ着脱は自由とする
- 2.半袖カッターシャツの着用は可とする
- 3.Tシャツ・ポロシャツは不可とする
- 4.対外的会議・行事へは、従来どおりスーツ・ネクタイ着用の上参加すること
- 5.会館の内外を問わず、本会会員として品位と秩序を保ち、清潔な服装に努めること



行事報告

日本歯科医師連盟「第8回 政治セミナー」

日時：4月10日(金)午前11時

場所：ホテルメトロポリタンエドモント 2階「悠久」

歯科医療の発展に資する考えを、歯科界を代表する我々が「主張」し、それを政策として「実現」させる組織にならねばならない。その為に、意識の高い会員数を増やし組織力の強化を図ると共に、理解ある方の各種選挙に対し強力に支援する体制強化を目的とし、政府与党幹部や有識者による講演を通じ、連盟活動の意義と重要性を再確認する会である日本歯科医師連盟「第8回政治セミナー」が開催された。

田村憲久衆議院議員(元厚生労働大臣)の講演から始まり、懇親会では小泉進次郎防衛大臣や様々な議員の参加もあり、大変な盛り上がりのうちに会は終了した。

なおこの会には、本会より、瓜生賢会長、小島將督理事が参加した。(執筆者：小島將督)



瓜生賢会長と小泉進次郎防衛大臣

第1回 支部長・副支部長会議

日時：4月15日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

執行部から瓜生賢会長、能美和基副会長、若林大輔副会長、森本慎樹専務理事が出席した。始めに瓜生会長より「年度が替わり1回目の会議です。今週末には、本会最大のイベントおくちの健康展がございます。たくさんの市民の方にご参加いただけるよう周知していただくことと、6月末には総会もございますので御出席宜しくお願い致します」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告

中区支部

2月18日 第6回支部長・副支部長会

2月21日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会

2月28日 第171回国保組全会・第72回互助会
総代会

3月 7日 (県歯)第158回臨時代議員会
 3月16日 吉島圏域多職種連携会議小委員会
 3月21日 広島県歯科医師連盟第88回評議員会
 // ゆざき英彦後援会総会
 3月27日 中区支部幹部役員会
 3月30日 新入会員希望面談
 4月 6日 新入会員希望面談

東区支部

2月18日 第6回支部長・副支部長会
 // 医療安全研修会
 2月21日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会
 2月28日 第171回国保組合会・第72回互助会
 総代会
 3月 7日 (県歯)第158回臨時代議員会
 3月16日 介護保険研修会
 3月18日 東区地域保健対策協議会第3回在宅医
 療介護連携推進委員会
 // 東区地域保健対策協議会第6回常任理
 事会
 3月21日 広島県歯科医師連盟第88回評議員会
 // ゆざき英彦後援会総会

南区支部

2月18日 第6回支部長・副支部長会
 2月21日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会
 2月25日 南区在宅医療・介護関係者研修会
 2月27日 南区地域医療医歯薬連携研修会(Web)
 2月28日 第171回国保組合会・第72回互助会
 総代会
 3月 7日 (県歯)第158回臨時代議員会
 3月11日 医療介護多職種連携グループ災害時デー
 ター13日 入力模擬訓練
 3月18日 南区支部理事会
 3月21日 広島県歯科医師連盟第88回評議員会
 // ゆざき英彦後援会総会

西区支部

2月18日 第6回支部長・副支部長会
 2月19日 西区支部例会
 2月21日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会
 2月28日 第171回国保組合会・第72回互助会
 総代会
 3月 2日 西区在宅医療・介護連携推進会(Web)
 3月 7日 (県歯)第158回臨時代議員会
 3月21日 広島県歯科医師連盟第88回評議員会
 // ゆざき英彦後援会総会
 3月23日 西区地域保健対策協議会第4回常任理
 事会、理事会合同会
 3月31日 佐久間高志先生廃院
 4月11日 西区支部花見会

執行部

- ・令和8年2、3月分の休日診療保険請求における留意事項について
- ・その他

協 議

中 区

- ・仮に非会員で開業して、歯科医師会入会申請をしてきた場合の会としての対応について
- ・ソフトボール運営委員会

東 区

- ・園医ではない近くの保育園児の外傷受診について

西 区

- ・支部会員への新規入会希望者の情報開示について
- ・他地区に在籍する歯科医師が、西区支部において非会員で開院する件について
- ・新入会員が、広島市歯科医師会の各部(委員会)に所属するべきという意見が、支部会員から出た件について

執行部

- ・広島市歯科医師会選挙管理委員会委員の推薦について
- ・令和8年度歯科相談・歯周病予防教室への出務医推薦について
- ・広島市節目年齢歯科健診票について

(執筆：森本慎樹)

第41回 おくちの健康展

日時：4月19日(日)午前10時

場所：そごう広島店「屋上特設会場」

本会が、広島県歯科衛生士会、広島県歯科技工士会広島支部、広島県栄養士会、広島矯正歯科医会と主催する「第41回おくちの健康展」が開催された。開会式では瓜生賢会長の挨拶があり、野坂党実行委員長から注意事項の説明があった。

位相差顕微鏡を用いた、むし歯菌発見ブース、細菌カウンターの用いた細菌数チェックブースや小児や矯正の相談コーナー、各会のブース、協賛企業ブースも大変好評で来場者が長蛇の列をなした。さらに本年からの新しい試みとして「噛む力チェックブース」を立ち上げた。昨今注目されている口腔機能発達不全症や口腔機能低下症などであげられる咬合力をその場で測定した。3歳から80歳の延べ321名が測定し、31%の100名が-1SDを下回る興味深い結果となった。

今年は曇りで暑くもなく、雨が降ることもなく、大変過ごしやすい天候の中で行われ2,549名の来場者があり盛会に終了した。

このイベントは、地域歯科保健部委員だけでなく、毎年新入会員に歯科医師会の公衆衛生活動を知っていただく機会として参加していただいております。本年は室積幸奈氏、藤岡正朗氏、中島康雄氏、佃文蔵氏、澤田健友氏、鵜崎裕則氏、真田美由紀氏、森田弘子氏、安藤洋平氏ら9名の新入会員に出務していただいた。「おくちの健康展」は多くの市民と直接ふれあえ、公衆衛生啓発活動が行える大変貴重な機会である。今後とも市民の口腔の健康意識向上のため力を入れて取り組んでいく所存である。

(執筆者：土屋崇文)



健康展の出務者

令和8年度 第1回 四者協議会

日時：4月27日(月)午後7時

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

標記会の冒頭で、瓜生賢会長、上田友紀広島市教育委員会健康教育課学校安全対策担当課長のご挨拶があり、その後、小学校校長会、小学校教育研究会、広島市教育委員会、広島市歯科医師会の出席者全員が自己紹介を行った。

以下の内容について協議を行い、いずれも承認された。

- (1)歯の優秀校並びに優秀児童の表彰規程(案)
- (2)様式(各校提出用)の各問いの配点(案)
- (3)学校表彰の部 表彰候補校の選出基準(案)

この中で(1)については、昨年の同協議会での「不正咬合」及び「顎関節」は原因が生活習慣ではなく先天的なものも多いことから、「よい歯の健康大賞」の選出基準については現行通り、「よい歯の賞」の選出基準からは削除という決定に従い、令和8年度より削除していることを確認した。これにより、「よい歯の賞」を受賞する児童が500人程度増加する見込みで、歯科保健の大切さ

を普及する裾野が広がることが期待される。

(2)について、配点を教えてほしいという意見があったと報告があったが、総得点が100点であることのみお伝えし(3)については(2)のみで決まるのではないので、配点については、今年度は変更はなし、公表もなしという決定をした。(3)については昨年度の実績に鑑み基準を下げて表彰候補を選出し、第2回四者協議会により表彰校を最終決定する事となった。

また、(2)については内容を見直す必要がある点がいくつか見つかり、来年度に向けて改善する方針となった。

続いて、広島市教育委員会より以下の内容の報告があった。

(1)令和8年度広島市立小学校「よい歯の学校・児童」表彰の応募について(通知)

(2)令和7年度被表彰児童数一覧・歯の表彰児童数及び年次別表彰児童数一覧

(3)令和7年度よい歯の学校表彰一覧

(4)第66回広島市学校保健大会開催要項(予定)

その他として、本会の能美和基副会長より、「紙媒体での歯科についての情報が学校へ伝わりにくいようだがどうなっているのか教えてほしい」、「今後はどうアプローチすればよいのか?」との質問があった。昨今の、政府のペーパーレスを推進する方針が学校にも通達が来ていること、教育委員会の所在地が変わったことなどの影響が考えられ、どの会においても解決できていない問題で、今後の検討課題となった。

最後に能美副会長が閉会の辞を述べて終了した。

本会からは、瓜生会長、能美副会長、若林大輔副会長、

森本慎樹専務理事、濱岡代枝理事が出席した。

(執筆: 濱岡代枝)



会議の様子

支部だより

中区支部

令和7年度 中区支部幹部役員会

日時: 3月27日(金)午後7時30分

場所: 広島市歯科医師会「大会議室」

標記会は、きたる中区支部の令和7年度の支部総会における議事内容を検討することが、主たる目的で開催された。

主なところで、令和7年度事業報告、令和8年度事業(案)、令和7年度収支決算報告が波田佳範支部長より報告があり、令和8年度予算(案)が吉岡英将会計担当幹部より報告がなされ、慎重に審議が行われた。特に最近にみられる傾向では、会費免除の高齢会員の増加が認められる一方で、若手会員があまり増加していない現状、それにより支部の予算は年々減少していくことは、火を見るよりも明らかである。いかに無駄な経費を削っていくか、そして事業においては中区支部オリジナルの講習会、勉強会などの開催の必要性が議論された。

喫緊の課題では、近年出席者が減少しつつある支部総

会を、どのように出席者を増やし、運営していくかなどが熱心に協議されたのであった。また一方では、世代間に生ずる価値観の相違、それによって引き起こされる支部会離れへの対応など、抱えている課題はたくさんあるが、できる限り対応を練って、中区支部の運営を進めていきたい。(執筆: 波田佳範)



役員会の様子



総務部

休日診療保険請求における留意事項について



大井手和久理事

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にさせていただけたら幸いです。

- ・ 歯冠破折において処置のないものがありました。適切な処置をお願いいたします。
- ・ P 急発 GA で投薬のみのものがありました。休日診療においてもペリオクリンを用意していますので P 処等適切な処置をお願いいたします。

学術部

オーラルフレイルの先駆け、三百年前の偉人。貝原益軒の養生訓

時は宝永五年(1708 年)。富士山の「宝永大噴火」からわずか一年後という、社会全体に不穏さと爛熟が同居していた時代です。

この年、一冊の健康書が世に出ました。筑前福岡藩の儒学者、貝原益軒が七十九歳で著した『養生訓』です。この本は出版されるやいなや江戸中の話題をさらい、当時の「超ベストセラー」となりました。

驚くべきはその読者層の広さです。時の将軍から長屋に住む庶民に至るまで、身分を問わずあらゆる人々がこの本を手に取りました。益軒があえて難しい漢文を避け、誰もが読める「かな混じり」の平易な言葉を用いたためです。

私たちが今日当たり前のように使っている「腹八分目」という言葉も、この本が普及したことで、日本人の生活習慣として定着したものだと言われています。

益軒の学問の旅は、決して平坦なものではありませんでした。彼は若い頃、藩主の怒りに触れて「浪人」として七年もの空白期間を過ごしています。しかしこの不遇の時代こそが、彼の「知」の真の土壌になったと考えられています。

彼は京都へ出て最先端の学問を吸収しましたが、単に書物を読み漁っただけではありません。自らの足で山野を歩き、植物を観察し、実際にその効能を試す。こうした徹底した「格物致知(事物の理を極める)」の実践こそが、のちの『養生訓』へと繋がっていったのです。

当時の平均寿命はおおよそ三十歳から四十歳前後。五十歳を過ぎれば「老境」とされる時代に、なぜ彼は八十歳近くになってもなお、これほど瑞々しい知的好奇心を持ち続けられたのでしょうか。

益軒にとっての勉強とは、机上の空論ではなく、自らの肉体と五感を通じて「自然の理」を解き明かすプロセスそのものでした。彼は中国の古典に学びつつも、それを日本の風土や日本人の体質に合わせて再解釈しました。現代風に言えば、「日本人に最適化された予防医学」の先駆者と言えるでしょう。

さて、この稀代の博物学者が、その鋭い観察眼で「自らの身体」をどのように管理していたのか、歯科医師である私たちの視点から見逃せないお話については、次号でじっくりと紐解いていきたいと思っております。

【参考文献】

『図解 養生訓』 齋藤 孝(ウェッジ)

『養生訓』 貝原 益軒 / 松田 道雄 訳(中公文庫)



小早川尚史委員長

厚生部

広島市歯科医師会会員紹介

厚生部では会員の相互の認識を深めるべく、新入会員の先生を中心にインタビューを行い、その内容を記事にまとめていただいております。今回も新入会員の先生をインタビューさせていただきました。

Q1. まずは先生の自己紹介をお願いします。

広島市歯科医師会に入会させていただいた「U Dental Clinic 牛田」の植田淳二(うえだじゅんじ)と申します。

広島市東区牛田で、サッカー一筋で育ちました。現在は3人の子育てに追われながら、日々老後の趣味になりそうな事を探しています。

Q2. 先生が歯科医師を目指したきっかけを教えてください。

高校の時に怪我が多く、サッカーをできない時間が多くてその時に医療系の仕事につきたいと思うようになりました。浪人の時の恩師と今後の進路を相談した時に歯科の仕事に興味を持ち、歯科医師を目指すことにしました。

Q3. 子供の頃、歯科医師以外でなりたい職業はありましたか？理由もあれば一緒に教えてください。

サッカー選手になりたかったです。今でもそうですが、サッカーが好きなので。

Q4. 先生の仕事の息抜きとはなんでしょう？

旅行、美味しいものを食べに行く、子どもと遊ぶことです。



Q5. 歯科医師会に入って良かったこと。歯科医師会でやってみたい事があればお願いします。

学校健診などの地域の方々の健康に関与させてもらえることです。

今後に関しては、地域の方々が口腔内で困ることが少しでもなくなるように予防を広めることができればと思います。

(中央) 鈴木隆行2002年日韓ワールドカップ日本代表選手と
(右) 植田淳二氏

Q6. 最後に30年後(もしくは70歳)の自分にメッセージをお願いします。

自分自身が関わった患者さんが喜んでもらえる医療が提供できていると信じています。

30年後にはおそらく歯科治療はしていないと思いますが、自分自身が経験できたことを地域の方々に還元できるよう、社会貢献を頑張ってください。



インタビュアー：柄慎太郎委員長

先生ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

～ハハ姉妹の学校ニュース《37 時間目》「お口ポカン気になりませんか？①」～



デジタル版《37 時間目》
広島市歯科医師会キャラクター「ハハ姉妹」

お口ポカン気になりませんか？①

鼻づまりがないにも関わらず、お口が良く開いていたり、舌が見えていたりしませんか？

このような状態を「**お口ポカン**」といって、食べたり話したりする機能が正常に発達していない状態で「**口腔機能発達不全症**」の一つです。



お口ポカンと全身の関わり

お口ポカンは、お口まわりだけでなく、このように全身とも大きな関わりがあるとされています。

次回は、お口ポカンを治すトレーニングを紹介します。

歯医者さんからのメッセージ

口腔機能発達不全症とは、主に成長期の子どものみならず、近年は歯科での評価やトレーニングの重要性が注目されています。早期に発見し、しっかりお口で噛んで食べる力を獲得して、8020を目指しましょう。



林内 優樹 先生

8020
80 歳になっても
20 本以上自分の
歯を保とう

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変してください。

※今回は地域歯科保健部 林内優樹氏 他が作成いたしました。

ハハ姉妹学校ニュースは、患者さんへの説明の為に作成しております。

PDF は下記 URL または QR コードよりダウンロードしてください。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>

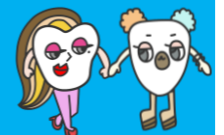


LINE 公式アカウント
友達募集中！



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。



今までの配信内容

- 1 1 月 2 6 日 配信 関係者のための病弱児セミナー「口唇口蓋裂・口腔外傷」の案内のお知らせ
- 1 月 2 2 日 配信 オンライン資格確認端末のバージョンアップについてお知らせ

新規登録時に管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。

会員ひろば

新入会員紹介



橋本佳樹

広島市歯科医師会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、広島市歯科医師会に入会いたしました橋本佳樹と申します。

私は愛知学院大学を卒業後、郷里である広島に戻り、広島大学病院にて臨床研修を修了いたしました。その後は中区のはしもと歯科医院にて父・橋本隆とともに診療に従事して参りました。

この度、2026年8月より父のあとを受け継ぎ院長に就任する運びとなりました。今後も父とともに微力ながら地域医療の発展に貢献できるよう、より一層精進して参る所存です。

入会に際しましては、多くの先生方にご指導、ご助言を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。
まだまだ未熟者で、諸先生方にはご指導を仰ぐことも多いかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より ーこんな医療トラブルが起こっていますー

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：継続治療について

根管治療中であるが予約が取りにくく、他の歯にも痛みが生じていることから、十分な治療が受けられていないのではないかと不安を感じ、転院を検討している。

(センターの対応)

診療体制の是非について判断することはできないため、治療を希望する歯科医療機関に直接連絡し、受診の可否を確認するよう勧めた。

(コメント)

予約状況や治療計画については、事前に丁寧な説明を行い、患者の理解と納得を得ることが大切でしょう。また治療の見通しを共有し理解してもらうことで、不安や誤解の防止につながるでしょう。

事例2：治療中の損傷について

歯科治療中に器具により舌を損傷したが、その場で十分な説明がなされず、後日問い合わせを行っても明確な回答が得られなかった。自由診療に関する返金や文書による説明を求め、転院を考えている。

(センターの対応)

治療契約書を確認するよう助言するとともに、司法相談窓口を案内した。

(コメント)

診療中に事故が生じた場合には、速やかに状況を説明し、誠実に対応することが重要でしょう。患者との信頼関係を損なわないためにも、丁寧な説明と十分な配慮が求められるでしょう。

広島市歯科医師会 Instagram、Facebook、YouTube、
に投稿しておりますので、是非ご覧ください！！



記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の [QR コード](#) をスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。)リンク切れはご容赦願います。)

国試の合格率減少についての見解は？／ 歯科医師の「偏在」を国が認定 | 日歯定例記者会見

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/4185>

日本歯科医師会副会長は、歯科医師の偏在問題に関する進展について報告した。これまで、歯科医師の適切な配置に関する議論において、歯科医師の地域偏在については明確な指標がないために公式な認定が見送られてきたが、3月19日に開催されたワーキンググループにおいて、「歯科には偏在が存在する」という事実が正式に認められた。これにより、今後は医科の議論と足並みを揃え、どの地域にどのような偏在があるかという具体的なデータ分析に基づいた対策を講じることが可能になる。これは、歯科界にとって大きな転換点であり、今後の「骨太の方針」などへの反映を目指して、国との交渉を加速させる考えを示した。

また、歯科医師国家試験の合格率減少について、特に今回の合格者数が大幅に減少したことに懸念を感じており、「将来的に歯科需要が増えることが確実な中で、なぜ急激に合格者が絞られたのか検証が必要だ」と指摘した。また、若者の歯科医師志望者が減少しているという深刻な危機



感があり、組織に新しい活力を取り込むためには、若い世代が憧れを持って目指せる職種へと社会的地位を引き上げることが不可欠であると訴え、これまでは主に会員向けの内部広報に注力してきたが、対外広報を最重点課題に据えるとした。

考察

歯科医師は長らく過剰と言われており、開業などが厳しいイメージが広がっていたようですが、歯科医師の高齢化と国家試験の合格率や歯学部志願者の減少などによって、減少に転じてきているようです。ただ、人口当たりの歯科医師数はまだ国際的には多い方とのことで、地方や過疎地などで、高齢の歯科医師が引退し、新しい歯科医師が開業しないなどで、減少が体感されやすくなっているようです。



柄博紀副委員長

国が備蓄の医療用手袋 5000 万枚放出へ 高市総理が表明 供給不安により一部の歯科診療所などで確保が困難に 5 月下旬ごろの放出目指す

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2605637?display=1>

中東情勢の影響で医療物資などの供給不足が懸念されるなか、高市総理は国が備蓄している医療用手袋およそ 5000 万枚を来月から放出すると表明した。



厚生労働省によると、医療用手袋をめぐるのは、供給不安から一部で大量の枚数を発注しているケースがあり、歯科診療所などで確保が難しくなっているということである。

全国の診療所などの需要が 1 か月で 9000 万枚とされており、まずは 5000 万枚を放出し、必要に応じて追加していく方針だ。厚労省は医療機関の物資の確保状況を把握できる「G-MIS」というシステムを改修して活用し、5 月下旬ごろの放出を目指すとしている。

考察

コロナ禍の時もそうでしたが、世界的情勢不安が起こると、様々な理由から医療物資の確保が難しくなってしまいます。緊急事態に国からの医療物資の提供は非常にありがたいですが、すぐに対応をしてもらえないため、医療物資が届くまで医院の在庫が尽きないか各医院不安だと思います。常に多くの在庫を抱えておくのは難しい現実もあると思いますが、メーカーへの急な発注の集中によるパンクを避けるためにも、各医院で普段から在庫をある程度確保しておくべきかと思いました。



永井亮委員

大臼歯部 CAD/CAM レジン冠の脱離に関連する形態的因子の解析 大阪大学

https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2026/20260408_1

大阪大学大学院歯学研究科の伴晋太郎招へい教員、峯篤史准教授らの研究グループは、大阪大学歯学部附属病院で大臼歯に装着された CAD/CAM 冠の予後を調査し、冠の脱離に影響を与える要因を、世界で初めて三次元デジタルデータと臨床データの両面から明らかにした。

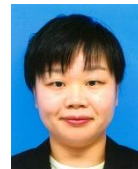
CAD/CAM 冠 117 装置の臨床経過を調査した結果、かぶせ自体が割れたのは 1 装置、歯根が折れたのは 1 症例にとどまり、4 年生存率は 95.5% であった。14 装置のかぶせが脱離したが、再装着後はいずれも良好な経過となった。さらに、脱離した症例を詳しく分析した結果、土台の形、かぶせの厚み、接着材の種類が脱離に影響し



ていることが分かった。特に、かぶせの厚みについては、厚いほど脱離しやすいことが判明した。

考察

冠の咬合面の厚さが厚いほど脱離のリスクが上昇するという結果が興味深かったです。この結果は、材料の厚みが増すことで光照射時の光エネルギーが減衰し、合着材の重合率が低下するためと考えられているようです。咬合面の過剰な切削は支台歯の高さを損なうだけでなく光重合障害を招き、脱離を誘発する可能性があるという視点を持ち日々の臨床に活かしていきたいです。



森宗こころ委員

口腔咽頭がん、喫煙と飲酒歴に「歯の少なさ」が重なるとリスク上昇

<https://prevono.net/research/1211/>

喫煙や飲酒の経験があり、しかも歯の本数が少ない人では、口腔咽頭がんのリスクが高いことが示された。



東京科学大学、東北大学、浜松医科大学、日本福祉大学、千葉大学の研究グループが 2026 年 3 月に報告した。

喫煙や飲酒の経験があると、口腔咽頭がんの死亡リスクにつながるものがかねて知られていた。

これに加えて、今回、研究グループは、口の中の健康、とりわけ歯を失うことが、このリスクにどのように関連するのかに着目。日本の自立した高齢者を追跡調査することで、喫煙と飲酒歴に加えて歯の本数が口腔咽頭がん死亡にどう関わるかを検証した。

対象としたのは、日本老年学的評価研究(JAGES)に参加した 2010 年時点で 65 歳以上の自立高齢者 3 万 9882 人。調査開始時点で、喫煙歴、飲酒歴、歯の本数を把握

し、その後 12 年間にわたる口腔咽頭がん死亡を追跡した。対象者の平均年齢は 73.7 歳で、男性は 46.8% だった。

考察

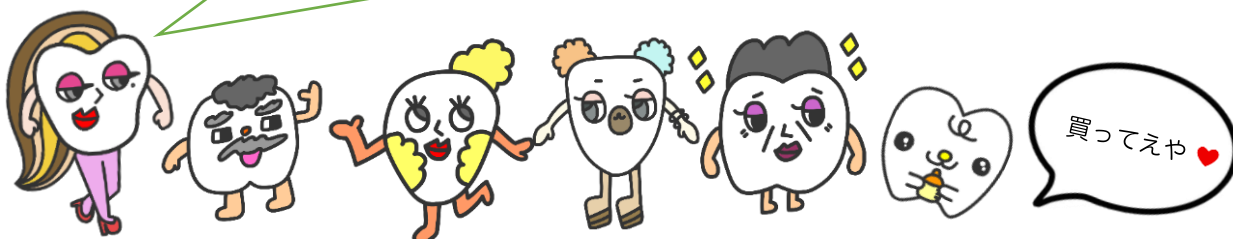
本研究より、喫煙および飲酒に加え、残存歯数の減少が重なることで、口腔・咽頭がん死亡リスクが相乗的に増大する可能性が示されました。特に残存歯数が少ない症例では、その影響が顕著であり、歯の喪失は単なる機能障害にとどまらず、生命予後にも関与し得る重要な指標と考えられます。我々歯科医師は、臨床の場面でハイリスク患者の早期抽出と定期的な口腔管理、ならびに禁煙・節酒を含めた指導などの包括的な介入が必要になると考えられます。



小林裕子副委員長



公式スタンプよろしくお願いします！



スタンプの利用は市民の皆様への歯科分野啓蒙の一環としてお考えいただけたら幸いです💖

【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。



3月4日放送分

「歯根破折って何？」森宗ころ氏

<https://x.gd/HJQ4J>



3月18日放送分

「自分に合う歯科医師みつけて」小島将督氏

<https://x.gd/p9Tt7>



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」今だけここだけキューアップ 第1・3水曜日午前9時30分から

5月6日放送分

保険診療と自費診療の違い

光山素夫氏



歯科で自費診療の提案をされたことはありませんか。保険診療も多くの方の医療を保障する大事な制度ですが、保険診療でカバーされていない優れた素材や治療法もあり、患者さんの状態によっては自費での選択肢を紹介することもあります。それぞれどのような違いがあるのかを解説します。

5月20日放送分

飲み込む運動はとても大切

有田竜二氏



人間は、お母さんのおなかの中にいる胎児の時から羊水を飲み込むという運動を無意識に行っています。この運動を嚥下（えんげ）といいます。嚥下はとても大切な運動で、1日で2千回以上行われています。嚥下がうまくできていないと、いろいろな所に支障が出てくることもあります。



被災時や緊急時の会員安否確認のための

LINE 登録をお願いします!!

現時点での登録者数 203/441人 2026.5.11 現在



スマホはもちろん、カラオケ設備もなにもなかった昭和のバス旅行の定番レクリエーションのひとつに「伝言ゲーム」がありました。決められた文章を順々に後ろの人に伝え、最後の人が如何に原文に忠実に答えを言えるかを列ごとに競うゲーム。みなさん一度はやったことがあるんじゃないでしょうか。短い文章を、せいぜい15人程度伝えるだけでも最後には原型を留めないほど別の文章になっていて大笑い、がお約束でしたよね。わずか数行の文章でもちゃんと伝わらないのですから、複雑な情報を正確に伝達・拡散するのは案外難しいことがわかります。それを踏まえ、情報を伝えるのに口述だから不正確なんだ！しっかり文書で伝達しよう！と当然なるわけですが、実際には文書で発出したところでなかなか正確には伝わってくれません。本会も多くの文書を発出いたしますので、どう書けばご理解いただきやすいか、ということについては常に頭を悩ませています。

先日、本会主催の「第41回 おくちの健康展」が例年通り広島そごうの屋上で開催されました。今年は以前の6月開催から4月開催に変更して2年目となり、お天気が心配されましたが、雨に降られることもなく、会員の先生方のご協力のおかげで無事に本会最大のイベントを終えることができました。執行部を代表し、心より感謝申し上げます。このおくちの健康展、2,500人以上の来場者がお越しになるのですが、多くの方は幼いお子様連れ。彼らのお目当てはアンパンマンショーです。それはもう大変な大盛況で、立錐の余地もないほどのお客様であふれかえるのですが、我々の目的はもちろんアンパンマンショーをお楽しみ頂くことではありません。会場には歯と口腔の健康、大切さをアピールするためにたくさんのブースを設えて、市民のみなさんにご自身の健康について考えるきっかけにさせていただき、健康な生活を送っていただきたいと願い、そのお手伝いをさせていただくことが我々広島市歯科医師会に課せられた使命であり、それこそが市民の公衆衛生に資する、ということだと考えています。年を重ねて身体になにかしら不調を感じるようになると、否が応でも自身の健康を意識するようになりますが、小さなお子さんがいらっしゃる若い世代にとっては健康は当たり前のことであり、あまり関心のない方も多いように見受けられます。我々は医療人として、若いうちから健康に気をつけることの大切さをしっかりご理解頂きたい、そんな思いでこのおくちの健康展を開催しているのは言うまでもありません。

そごうでアンパンマンショーやっているみたいよ、無料だしちょっと行ってみようか、とご来場になったみなさんに、どうやって歯と口腔の健康の大切さをアピールしご理解頂くか、ということ、を、毎年地域歯科保健部の先生方を中心に、歯科衛生士会・歯科技工士会・栄養士会等の協賛団体の皆様や、会場を提供してくださるそごう広島店の担当者の方、後援していただいている広島市などと一生懸命知恵を絞って企画しています。今年は例年よりも多くのみなさんにアンケートにお答え頂き、チェックラリーにもご参加いただけました。これからも正しい健康に係る情報を、しっかりと市民のみなさんに伝達できるよう努力してまいりますので、なにか良い方策があれば是非お知恵をお貸しいただけると幸いです。

会長コラム (第34回)

笑門來福

伝達

瓜生 賢

4 月定例理事会報告

「部外報告」

3月26日	広島市との協議(予算説明)
〃	広島市歯科衛生連絡協議会令和7年度理事会・幹事会合同会議
〃	【Web】第2回歯科医療供給困難地域における歯科医療提供体制検討事業検討会議
3月27日	滅菌事業落札(学校)
〃	【Web】広島市連合地区地域保健対策協議会令和7年度第2回理事会
3月29日	休日診療 令和8年度打合せ会(衛生士会)
4月 2日	(県歯)会員サポート室会議
〃	(県歯)理事会
4月 3日	社会保険診療報酬支払基金再審査
4月 4日	広島大学歯学部第二口腔外科交友会
4月 8日	広島デンタルアカデミー専門学校入学式(祝辞)
4月13日	広島市教育次長ご挨拶(岩本教育次長・大庭課長補佐・臼井主任指導主事)
4月15日	【ハイブリッド】ライフステージに応じた歯科口腔保健推進事業「郡市地区歯科公衆衛生担当者協議会」
4月16日	広島県国保連合会歯科再審査部会
4月17日	広島県国保連合会歯科審査部会
21日	社会保険診療報酬支払基金審査
4月18日	中国・四国地区会長・日歯代議員合同会議

(連盟関係)

4月 4日	自由民主党新政治経済塾
4月10日	日本歯科医師連盟 政治セミナー
〃	自由民主党広島南第一支部「春の集い」

「総務関係」

3月31日	おくちの健康展第2回代表者会議
4月11日	西区支部花見会
4月15日	第1回支部長・副支部長会
4月19日	第41回おくちの健康展
4月20日	三役会
4月22日	定例理事会

(慶弔関係)

(入会退会関係)

3月27日	入会後面談(橋本佳樹先生)
〃	入会後面談(西村友里先生)
〃	入会前面談(中島大輔先生)
4月 7日	入会前面談(小跡弘幸先生)

(県歯理事会関係)

4月 2日	(県歯)理事会
-------	---------

(1)総務部(大井手理事)

3月27日	入会後面談(橋本佳樹先生)
〃	入会後面談(西村友里先生)
〃	入会前面談(中島大輔先生)

3月31日	休診レセプト点検
4月 1日	定例委員会
4月 7日	入会前面談(小跡弘幸先生)
4月13日	(県歯)医療管理部小委員会
4月15日	(県歯)医療管理部委員会
4月19日	第41回おくちの健康展

(2)学術部(花岡理事)

3月31日	おくちの健康展第2回代表者会議
4月10日	定例委員会
4月19日	第41回おくちの健康展

(3)厚生部(横村理事)

3月26日	【Web】第2回歯科医療供給困難地域における歯科医療提供体制検討事業検討会議
4月 7日	(県歯)福祉厚生・育成部 常任委員会
4月 8日	定例理事会
4月19日	第41回おくちの健康展

(4)地域歯科保健部

3月26日	広島市歯科衛生連絡協議会令和7年度理事会・幹事会合同会議
3月29日	休日診療 令和8年度打合せ会(衛生士会)
3月31日	おくちの健康展第2回代表者会議
4月19日	第41回おくちの健康展

<地域保健>(土屋理事)

4月14日	(県歯)地域保健部常任委員会
4月15日	【ハイブリッド】ライフステージに応じた歯科口腔保健推進事業「郡市地区歯科公衆衛生担当者協議会」

<学校保健>(濱岡理事)

<地域連携>(中川理事)

3月27日	【Web】第2回広島市在宅医療・介護連携推進委員会
4月15日	【ハイブリッド】ライフステージに応じた歯科口腔保健推進事業「郡市地区歯科公衆衛生担当者協議会」

(5)広報部(小島理事)

3月31日	おくちの健康展第2回代表者会議
4月 7日	校正委員会(だより4月号)
4月10日	日本歯科医師連盟 政治セミナー
4月16日	FMちゅーピー収録
4月19日	第41回おくちの健康展

FMちゅーピー(放送日)

5月 6日	「保険診療と自費診療の違い」 光山 素夫 氏
5月20日	「飲み込む運動はとても大切」 有田 竜二 氏

(6)広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 不明
ページビュー 不明
会員サイト 訪問者 不明
ページビュー 不明
LINE 公式アカウント 登録者数 4月21日 201名

(7)特別委員会

(8)救急蘇生委員会

新名称の委員会に会則等新規作成予定

(9)選挙管理委員会

(10)各部事業計画について

3月理事会で承認

(11)歯科医療安全相談

4月14日 相談 施設に入所されている方の登録方法などについて(中区会員)

「協議事項」

(1)入会について(5名)

中区支部の角伊三武氏、中島大輔氏、南区支部

の二反田淳春氏の入会について承認、南区支部1名、西区支部1名継続審議中

(2)会費について(5名)

終身会員資格取得による会費額変更について3名、診療形態の変更による会費変更について2名承認

(3)救急蘇生委員会の書面開催について
内容について確認

(4)令和8年度学校歯科医協議会について
11月26日開催に決定

(5)県立高校の学校歯科医について
内容について協議

(6)第119回定時総会について
内容について協議

(7)第119回定時総会懇親会について
内容について協議

(8)その他

「その他」

- ・来月よりクールビズ
- ・三師会ゴルフコンペ(5/31)残り1名参加可能
- ・9月理事会24日に変更、3役会は19日開催
- ・クリスマスパーティー12月19日開催
- ・新年互礼会令和9年1月9日開催

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿
をお願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事小島将督までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 小島将督

E-Mail: kojima.d.c@icloud.com